

平成 20 年度環境技術実証事業検討会ヒートアイランド対策技術分野
(オフィス、住宅等から発生する人工排熱低減技術)
地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム小WG (第 1 回)
議事要旨 (案)

1. 日時：平成 20 年 9 月 12 日 (金) 14:00～16:00
2. 場所：株式会社三菱総合研究所 大会議室
3. 議題
 - (1) 小WG設置の趣旨について
 - (2) 地中熱を利用したヒートポンプ空調システムについて
 - (3) 実証対象技術と実証項目について
 - (4) 今後の検討スケジュールについて
 - (5) その他
4. 出席検討員：藤井光 (座長)、大岡龍三、森川泰成、今泉幸彦、大嶋邦彦、浜田眞之
欠席検討員：足永靖信
5. 配布資料
 - 資料 1 - 1 地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム小WGの背景と目的
 - 資料 1 - 2 地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム小WGの進め方について
 - 資料 2 地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム技術調査のまとめ
 - 資料 3 技術の絞込み・実証項目の検討
 - 資料 4 今後の検討スケジュール (予定)
 - 参考資料 1 環境技術実証事業パンフレット
 - 参考資料 2 平成 20 年度環境技術実証事業実施要領
 - 参考資料 3 平成 20 年度環境技術実証事業ヒートアイランド対策技術分野 (オフィス、住宅等から発生する人工排熱低減技術) WG設置要領
 - 参考資料 4 平成 20 年度環境技術実証事業検討会ヒートアイランド対策技術分野 (オフィス、住宅等から発生する人工排熱低減技術) ワーキンググループ第 1 回 (7 月 2 日開催) におけるご意見

6. 議事

会議は公開で行われた。

(1) WG 設置について

- ・事務局より資料 1-1、1-2、参考資料 1 に基づき、WG 設置要綱、設置目的について説明がされた。

(2) 地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システムの技術及び実証内容について

- ・事務局より資料 2、3 に基づき、地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システムに関連する技術及び企業に関する調査分析結果及び実証内容に関する説明がされた。
- ・実証試験要領における実証単位に関して、当該システムの普及効果、ヒートアイランド対策効果という観点から議論が進められ、システム全体、ヒートポンプ、地中熱交換部全体を中心に実証を行うことが確認された。
- ・実証試験要領における実証項目に関して、ヒートアイランド対策効果という観点、そしてユーザーが技術の性能を如何に把握するかという観点から議論が進められ、また今後も適切な実証項目を整理することが確認された。
- ・実証試験要領における実証方法に関しては、事務局が委員へのヒアリングを通して整理し、第 2 回 WG において再び検討することが確認された。

(3) 今後の検討スケジュールについて

- ・事務局より資料 4 に基づき、今後の検討スケジュールについて説明がされた。
- ・小 WG 第 2 回の開催等については今後調整することに決定した。

(4) その他

- ・特になし。

(文責：環境省水・大気環境局環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり)